

## 謝辞

このたびは、子どもたちのために心のこもった卒業式を執り行っただき、誠にありがとうございます。させていただきます。

校長先生をはじめ諸先生方には、日頃より本校の校訓である「明朗・勤勉・創意・工夫」のもと、「学力の向上」と「安心・安全な学校づくり」を目標に、子どもたち一人ひとりに真摯に向き合い、温かく、そして時には厳しくご指導くださいましたこと、保護者を代表して心より感謝申し上げます。

本校が生徒数が多い中にも、学力面で安定して高い成果を上げていることは、日々の丁寧なご指導と、先生方が気持ちの一つにして取り組んでこられた努力の賜物であると感じております。その教育への誇りと情熱こそが、本校の大きな魅力だと思っております。

三年前、まだあどけなさの残る姿で入学した子どもたちは、先生方の温かなご指導のもと、大きく成長いたしました。

この三年間で特に印象に残っておりますのは体育大会です。体力勝負の競技からユーモアあふれる種目まで工夫を凝らしたプログラムに、学校全体の一体感を感じました。自分たちのクラスを懸命に応援する姿は微笑ましく、クラス対抗全員リレーでは、仲間のために最後まで全力で走り抜ける子どもたちの姿に胸が熱くなりました。

また、合唱コンクールも忘れることができません。一年生の頃はどこか照れくさそうに歌っていた子どもたちが、学年を重ねるごとに成長し、最終学年では心一つにした美しいハーモニーを響かせていました。その姿は、仲間との絆の深まりと、先生方の丁寧なご指導の積み重ねそのものであったと感じております。

思春期という難しい時期に、子どもたちは悩み、迷いながらも歩んでまいりました。その成長を信じ、支え、励まし続けてくださった先生方の存在は、子どもたちにとって何よりの支えであったことでしょう。

本日、無事に卒業の日を迎えられましたことに、改めて深く感謝申し上げますとともに、本校のさらなるご発展と、先生方のご健勝を心よりお祈り申し上げ、謝辞といたします。

令和八年三月 卒業生保護者代表

新里 円

吉田 牧絵

真野 弓